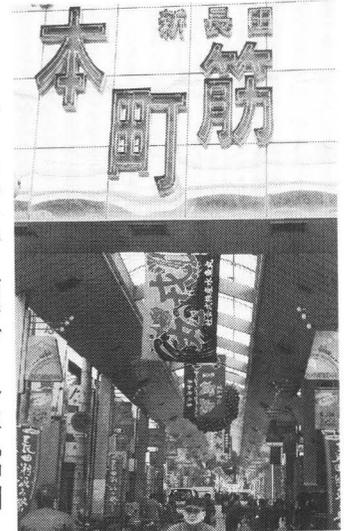
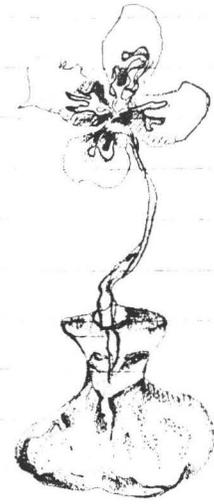


# 長田潮汲み祭り 「おーぷん長田2001実行委員会」 新長田駅南商店街で開催



七月の地下鉄開通やワールドカップなど神戸の副都心として発展するようにと「潮汲み祭り」が南商店街で行われた。本町筋商店街では実行委員の山本豈夫さんが潮汲み早速びリースを企画した。

長田神社が神事で駒ヶ林浜から潮水を運んだのにヒントを得て、「潮汲」の衣装に身を包み、デカパン・平均台・飴食いなどを身に着けてゴールを目指す競争だ。スタートは



カットハウス「みか」前でゴールは「中岡呉服店」の三十メートル。「天才チーム」や「ラブマシーン」など二十八組が参加して熱戦が繰り広げられた。商店街には大漁旗がはためき「林のとれ」とれ」の幟がある。

山本さんは「昔は駒ヶ林のことを林の浜と呼んでおり区の名前も林田区だった。また古くからの漁場で振り売りが街の人々に馴染まれていた」と語ってくれた。潮汲み祭りは五月・七月・九月にも行われる。



# ++++ 紹介 +++++ コミュニティ安全マップ

真野地区防犯福祉「コミュニティ安全マップを作成した。防災資機材庫・資機材協力店やコンビニ・井戸・医療機関・消火栓・避難所・公衆電話・福祉施設や相談所・こども110番など、日常必要なことから災害時にも対応できるように、わかりやすく地図に表示されている。緊急連絡先も電話番号もある。

同推進会は、人口流出・環境問題に危機感を持った住民組織で、一九八〇年から二〇年かけて「住工が協調し、住民主導」のまちづくりをすすめてきた。公共施設の整備などの成果で、モデル地区として注目されている。

問い合わせ先  
「人・街・ながた震災資料室」  
TEL 〇七八一五七九二二二一まで  
震災を越えて

『阪神・淡路大震災と埋蔵文化財』  
シンポジウムの記録  
発行／『阪神・淡路大震災と埋蔵文化財』  
シンポジウム実行委員会  
まち・コミュニティ 二〇〇一年 三月号  
発行／まち・コミュニティシンポジウム

資料を提供いただき、  
ありがとうございました

# 人・街・ながた 震災資料室だより

人・街・ながた  
震災資料室 発行  
〒653 神戸市長田区北町3-4-13  
電話(078)579-2311  
発行人/寿 広文  
編集人/福嶋・山西・武川

第52号

- ① 菅公ゆかりの「匂いの梅」
- ② 地域防災力の向上について
- ③ 防災自治研集会
- ④ 「長田潮汲み祭り」他



# 菅公ゆかりの「匂いの梅」

長田中学校(旧・苅藻中)の東向かいに史跡「匂いの梅」があり遅かった春を待ちきれずに咲いている。

その昔、菅原道真公が九州・筑紫へ左遷される途中に大和田の泊に上陸したとき梅の良い香りに誘われてやってきた。その時詠んだ歌が祠の傍らの石碑に刻まれている。匂能梅 可勢さむ見 雪尔万可へ天

咲花農 袖耳そ移れ 丹保ふ梅可香  
(匂いの梅 風寒み雪にまがへて 咲く花の 袖にぞうつれ匂う梅が香)

背面には、末正重直造立え 文政第七甲申年仲冬 兵庫石工 時枝文衛門 とある(この祠の隣町は梅ヶ香町と呼ばれ菅公のこの歌からと言われている)

「匂いの梅史跡保存会」(昭和六十年結成)の事務局をされている喫茶・八重ちゃん

んの岩木さんは「ある時、ケミカル関係の女性が店へ来てそこに御社がある、大切にお祭りをしなさい」と言われたそうだ。その後、地域の人々がお掃除や梅のお世話をされている。昨年は貝殻虫で困ったそうだが毎年七月二十五日は匂の梅天満宮の幟が立ち柳原の天神社さんの宮司が来られて大祭りが執り行われる。

平成元年には会員が資金を出し合って新しい歌碑が造られ除幕式が行われ、その模様「神戸史談」に紹介されている。  
祠の横には菅公腰掛の石が置かれ、竹筒の筆塚もある。また小さく「絵馬ご希望の方は喫茶八重ちゃんまで」の札が遠慮がちにぶら下げられている。  
匂いの梅史跡保存会(六五一二二一八)

### 「地域防災力の向上にむけて」の取り組みについて

大阪市職労・久本昇志さんから、大阪市の「地域防災力の向上にむけて」の取り組みについて報告をいただきました。

阪神・淡路大震災を教訓に'97年度に震度7クラスの直下型地震を想定した「大阪市地域防災計画〈震災対策編〉」を、'98年度には風水害や突発的な事故災害に対応する「同〈風水害等対策編〉」が策定されました。

①初期初動体制の確立②災害情報の収集・伝達体制の強化③地域防災力の向上④生活関連物資の確保⑤避難施設等の整備が骨子となっています。

また、都市基盤設備・建築物等ハード面での対策・整備をはじめ、市民・職員への防災知識の普及、自主防災組織の育成など、災害による被害の軽減を図り、地域コミュニティと連携し、生きた防災ネットワークづくりが進められています。

このマニュアルは市民向けのものであるため、理解しやすいように短く簡潔な表現でまとめられています。またカラーで表や絵も多くとり入れられ、とても見やすいものとなっています。

①から⑥までの内容を簡単に紹介してみます。

①地震の種類、活断層の説明、大阪府における地震の被害の想定（震度分布・液状化）。

②被害を最小限にいとめるために今できる家の中や家の周りの安全チェック、家族内での防災会議、家で準備しておく役立つなもの、地域や近隣での支援体制づくり、自主防災活動など。

③地震で揺れた時に a 家の中にいたら b 外出していたら c 援護を要する方の3つのパターンに分けられ、それぞれの対策が記されている。

④火災に巻き込まれたり閉じ込められたりした場合の対策、避難の仕方、正しい情報の得方など。

⑤気象庁震度階級表、様々な災害についての心得や備え、企業での備えなど。



⑥防災センターや応急手当の講習会についてのインフォメーション、防災カードの添付。

このマニュアルには各項目において援護を要する方のための想定や対策が多く記されています。このことは今後の福祉・高齢化社会にむけて極めて重要な要素だと言えるのではないのでしょうか。

### 自治労・阪神淡路大震災復興祈念集会 〜安心・安全のまちづくりの 防災自治研修会〜

前号からお知らせしている防災自治研修会が近づきました。5日は県立文化体育館で全体集会、6日には各所で様々な分科会が行われます。

14時25分 講演・辛淑玉さん  
「災害と人権〜共生のまちづくり」

15時15分 シンポジウム  
「災害と人権〜共生のまちづくり」  
辛淑玉さん

16時45分 蓮池小学校児童合唱  
また長田区役所に於いても7階の大会議室において「自治体と地域防災とコミュニティ」と題して分科会が行われます。

この分科会は、各自治体においては「大地震・大災害が自分の街に起こるとの認識が広がっており、地域における自主防災組織づくり（コミュニティ）の段階に入っている。このような自治体の防災行政を背景

に発表レポートとフロアとの意見交換を行い、防災担当者の交流と防災行政のレベルアップを目指す。』というのをテーマに行われます。

◎医療・介護と防災対策  
(長田消防署4階)

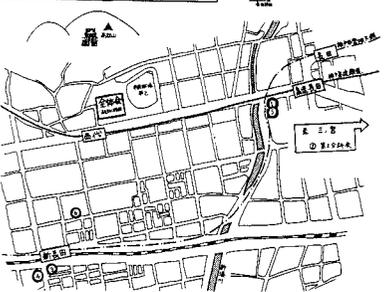
◎災害復興の都市計画・まちづくり  
(神戸市勤労会館・会議室)

◎避難生活の課題とあり方  
(ピレホール)

◎被災者の生活再建と地域の再建  
(新長田勤労市民センター)

### 会場あんない

| 分科会       | 会場      | 時間          |
|-----------|---------|-------------|
| ① 全体集会    | 県立文化体育館 | 5月6日 14時25分 |
| ② 防災自治研修会 | 蓮池小学校   | 5月6日 16時45分 |
| ③ 防災自治研修会 | 長田区役所   | 5月6日 18時00分 |
| ④ 防災自治研修会 | 長田区役所   | 5月6日 18時00分 |
| ⑤ 防災自治研修会 | 長田区役所   | 5月6日 18時00分 |
| ⑥ 防災自治研修会 | 長田区役所   | 5月6日 18時00分 |



### 飛松町西公園

(メモリアルパーク) 完成

この度、神戸市須磨区飛松町5丁目に新しく公園ができます。

この公園の予定地は、平成4年に神戸市により公園用地として買収され、整備予定でありましたが、阪神・淡路大震災により周囲の住宅の多くが倒壊し、当公園予定地は、周辺住民の一時避難所や炊き出しの場として使われ、またその後は、瓦礫置き場として利用されてきました。

その後、周辺の復旧が進むにつれて、防災観点や安らぎの場として公園整備要望が地元から強く寄せられていました。

この公園は、街区公園としては狭いことから高齢者の休息の場や幼児の遊び場等の静的な空間構成とし、災害時には一時避難ができる広場を設けられることとなります。施設の内容としては、地元から要望の強かった『癒しの花壇』や広場、植栽、ベンチ、幼児用遊具、フェンスなどを配置してメモリアルパークであることを示す「銘板」と「シンボルツリー」が配置されます。

また、3月28日に自治労から神戸市へ公園寄贈の贈呈式が神戸市役所にておこなわれます。